



AZABU ALPINE CLUB

AZABU ALPINE CLUB
ALUMNI NEWSLETTER

2022

麻布学園山岳部OB会
会報第23号 / JULY 2022

ごあいさつ

今年は那須朝日岳遭難事故から50年にあたります。学校の相模湖記念室をお借りして総会を開催し、その中でささやかながら追悼の催しを実施したいと考えておりましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症の為、今年も総会を開催できません。本ニュースレターでのご報告に替えさせていただきます。



活動が制限される中、理事会や現役とのコミュニケーションをオンラインで行うなどOB会の運営に尽力された役員の方々に、そして何よりご支援頂きました会員の皆様に心より感謝致します。

コロナ禍が終息して、せめて忘年会で会員の皆様と顔を合わせる事ができる事を願いつつ、今年度もできる限り活発なOB会活動を続けて参りますので、会員皆様方のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

会長 太田弘一

活動紹介

表紙写真は、2015年夏合宿、常念をバックにした現役。撮影は太田先生。

◆ コロナ状況下での部活動

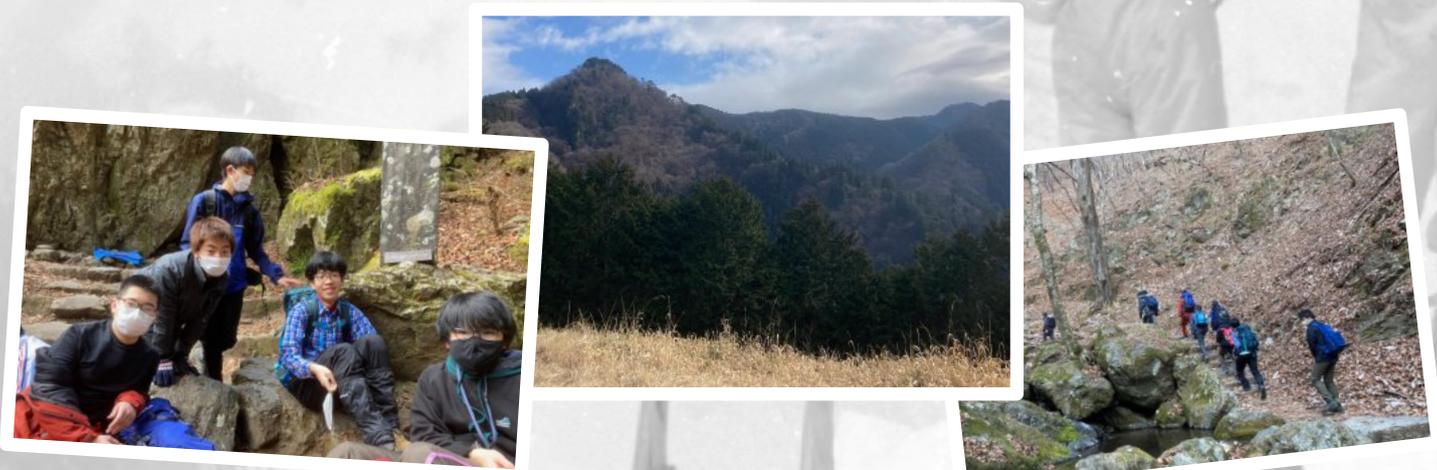
2021年度は、大学院生のかたわら、われらが母校である麻布中学校の社会科（公民分野）の非常勤講師を務めていました。中学3年生2クラスを週3日担当です。山岳部OB広しといえど、さすがに母校で教壇に立ったのは私くらいかもしれません。麻布の1限の授業は8時10分からはじまります。学生のころとは違って教師は遅刻するわけにもいきません。おかげさまでこの1年間はずいぶん規則正しい生活を送ることになりました。

ただ、この1年間もコロナと向き合いながらの教育活動でした。普段からお昼ごはんは黙食（&先生の監視？つき）、1月末には2週間のコロナ・ロックアウトによってオンライン授業を実施することになりました。修学旅行が延期になったほか、部活動が制限された時期もありました。となりの友だちと普通に話すことが難しい学校生活のなかで、「今日学校に来てよかった」と生徒が思えるような授業づくりに取り組んできました。1年契約の気楽さもあって、さまざまなことに挑戦できました。

さて、肝心の山岳部についてです。正直に言えば、あまり山岳部員とかかわる機会も多くもてませんでした。そもそも、2021年4月にオープン山行@高尾山を行って以降、コロナ関係での部活動の制限などもあり、その次に山に行けたのは2022年1月@御岳山（写真↓）になってしまいました。



渡邊真之 (H24卒)



改めて、山岳部の活動にコロナが与えた影響の大きさを思い知りました。私たちは合宿をし、同じ釜の飯を食うことで、仲間になっていたり、次の計画を立てたりすることができます。しかし、合宿どころか、日々の部活動の継続すらままならない事態のなかで、かるうじて続いていた山岳部のカルチャーが、途切れてしまった

ようにも見受けられました。部員も頑張っています。ただ、長期合宿も冬山山行もないなかで、また次の山行の見通しも立たないなかでは、「なぜ日々の部活動があるのか」がわからない（いつ「次」があるのかわからない）状況になってしまいました。率直に言って、現役の活動に対して「こんな程度だったかな」と落胆を覚える気持ちもあります。

とはいえ、ただ単に悲観しているわけではありません。むしろ、この状況から、新しい山岳部のカルチャーが立ち上がってくることを強く期待しています。そして、その「サポート」をするのは、私ではなくて、10代後半～20代前半の最若手のOBでなければなりません。若手OBの組織化が急がれる理由はここにあります。早急な「サポート委員会」自体の世代交代を行う必要があります。私の役割は環境整備までです。その先に、最若手のOBたちが、現役たちの新しいカルチャーの創出に少しでも手助けをしてもらえたら…そう願っています。■

◆ 若手OBたちと山歩き

70歳になって大学の非常勤講師も終わり、家にいることが増えたところにコロナ禍。暇つぶしに20数年間も閉局状態だったアマチュア無線に復帰しました。

歳をとると家に籠って体を動かさないでいるとみるみる体調が優れなくなってきます。そこで気づいたのは『山に行けば、マスクを外して美味しい空気が吸えて、一日中歩ける!』でした。

最近では、英国のSOTAという山岳アワードに参画し、月に2,3回ぐらいは山頂から無線を運用（写真✓）しています。交信スケジュールを組んでおくと山頂に待ち人がいるようで、足取りが軽くなるものです。



森美文 (S44卒)



おかげさまで、昨年は50座の山頂から運用できました。今年は3月までに15座と順調にアクティベータポイントを重ねています。

また、昨年秋には念願だった後立山最南部の蓮華岳から裏銀座の烏帽子岳の間を歩いてきました（写真✓）。しかし、あまり整備されていないルートに20数kgの荷を背負って歩くのは少々きつく、そろそろ小屋泊に替えた方が良さそうだと痛感させられました。

4

さらに先日は低山だからと甘く見ていた南軽井沢の八風山で膝上のラッセルを三時間も強いられました。やはりこの歳になると単独行でラッセルの連続は堪えます。帰宅した翌日は昼まで爆睡でした。

そのような老体ながら、昨年暮れには渡邊さんや頼さん、難波さんら若手OBの皆さんと山行（写真↓）をご一緒することができました。山の知識や技術の幾許かを伝えられれば嬉しい限りです。足手まといにならないようでしたらまたご一緒下さい。



そろそろコロナ禍の収まりが見えてきたので、中断していた西国、坂東、秩父を通した百観音巡礼も再開したいと思っています。結願すると極楽浄土が約束される上に、門前では美味しい食べ物や温泉が待っています。さすがに千年の文化の重さを感じられます。ご一緒に歩いていただける方は是非お声がけください。■

◆ 山荘薪割り合宿 ('21-12)



活動報告

2021年度も学校の部活動の制限が続き、現役サポート活動や総会・忘年会などの懇親会は実施できませんでした。

そのようななか、那須朝日岳の遭難事故から50年の節目をむかえるにあたり、OB会として学校を訪問し、平校長先生や顧問の江田先生と学生たちの安全確保についての意見交換を実施しました（最終ページに写真あり）。

また、八ヶ岳山荘の不動産登記名義を代替わりということで変更しました。12月には薪割り合宿（写真✓）を行いたっぷりと薪を補充しましたので、冬場も是非八ヶ岳山荘をご利用ください。

現役・OB会の活動はAACホームページで随時ご紹介していますのでご覧下さい。

◆ 会計報告

2021年度一般会計（2021年4月1日～2022年3月31日）

収入の部		支出の部	
会費収入	123,000	通信連絡費(会報等)	43,912
利息	4	山行同行交通費	5,379
	0	会議費	5,400
		忘年会支出	2,591
		雑費	1,250
合計	123,004	合計	58,532

当期収支 ¥64,472 / 前期剰余金 ¥1,098,032 / 当期末剰余金 ¥1,162,504.

2021年度山荘会計（2021年4月1日～2022年3月31日）

収入の部		支出の部	
山荘収入(延120人)	199,000	水道光熱費	107,782
利息	10	支払保険料	26,060
		支払手数料	550
		固定資産税など	62,500
		登記名義変更費用	165,565
合計	199,010	合計	362,457

当期収支 ¥▲163,447 / 前期剰余金 ¥1,088,215 / 当期末剰余金 ¥924,768.

会員 消息

各頁の背景写真は、小田薫さんが1950年代に撮影したものを使用しています。

◆ 近況報告 油井大三郎 (S39卒)

研究職の仕事に追われ、ご無沙汰を重ね、恐縮しております。

昭和39年卒の同窓生は「麻布39会」というものを結成し、年1回の総会と有志の修学旅行を実施しています。近年はコロナ禍の影響で対面の総会開催は難しいのですが、昨秋からメンバーの中学・高校時代の思い出を訊ねるアンケートを実施しました。その中に部活動も入っており、私の場合は中3から高3までの山岳部の思い出を書きました。

中3の夏に中央アルプス縦走中、雷に遭遇し、泣く泣く下山した際、生まれて初めて「お母さん！」と叫んだ思い出が強烈に残っています。その体験を書く際に山岳部のHPで事実の確認ができ、大変感謝しています。皆様のご健勝をお祈りしています。



◆ 近況報告 小澤徹 (S59卒)

近況ですが、会社を退職の予定で、年金受給まで働かなくても良いほどの貯えもなく、このニューズレターが出る頃は退職休暇を利用し、次に何をすべきか自分探しの旅に出ていると思います。久しぶりの長期休暇、本当は海外に行きたかったのですが、この状況ではそれも叶わず、日本の離島めぐりかなと。写真はコロナ禍前の最後の海外出張で行ったソウルの夜。その後はコロナ太りで、マラソンや山にも行けない体に、旅のあとは減量ですね。



◆ 近況報告 福井令似 (H6卒)

平成6年に高校を卒業後、浪人、大学院進学などを経て、今年で社会人21年目に突入いたしました（右のリンクの採用パンフレット-PDFに載せていただきました。）。



子供が小学校高学年になってから時々山に登るようになりましたが、家族全員分の装備を整えるのはなかなかの支出です（しかも子供すぐに大きくなりますし）。また、体力も落ちてきているので、宿泊を伴う場合は基本小屋泊なので、さらに金がかかります。子供の都合もあり頻繁には行けませんが、細々と続けられればと思っています。

また、東日本大震災の電力不足や昨今のコロナによる外出自粛の影響もあり、我が家ではボードゲームをする文化が根付きつつあります。そういえば山荘にも「ドミノン」が寄贈されているようです。興味のある方は是非やってみて下さい。

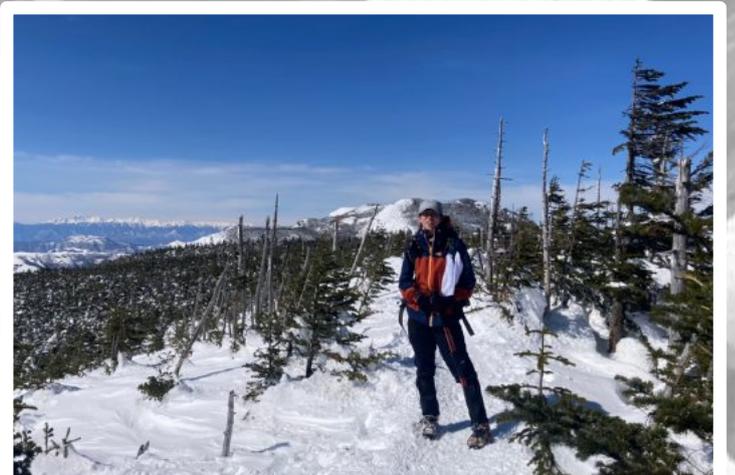


息子二人と両神山にて

◆ 近況報告 頼哲誼 (H26卒)

高校卒業からはや八年、今は茨城で研修医をしています。そろそろ進路選択の時期なのですが、どの診療科に進むか決めあぐねております。

登山は今も月1回程度を目標に続けています。近所の低山ばかりに出没しておりますが時々気合を入れた登山もしてまして、最近では鳥海山・月山や浅間山、敗退しましたが冬の木曾駒ヶ岳にも足を向けました。高校1年生の冬合宿で行った冬の北八ヶ岳にも久しぶりに行き、懐かしい風景を目に収めてきたところです。



北八ヶ岳にて

登りたい山はまだまだ沢山あるので、時間と気力を捻出して楽しく登山を続けていきたいものです。

◆ 会員動向

▶ 会員総数 205名 / 特別会員 14名

▶ ご逝去>鹿島康彦さん (S29) / 神原達さん (S30) / 青木義明さん (S29) / 心よりご冥福をお祈り申し上げます。

▶ 新会員6名>工藤健太郎さん / 持丸東己さん / 櫻井奎志郎さん / 青野颯さん / 稲垣陸夫さん / 戸高應佑さん(以上R4)



↑ 明神ヶ岳にて。中央奥金髪持丸、奥右端櫻井、その間工藤。

↙ 左端青野、その右稲垣、右端下戸高。

→ 学校訪問。下左から時計回りに江田先生、平先生、藤森、太田、平野先生（以上敬称略）

◆ お願い

・ 会費納入のお願い

2022年度の会費(¥2,000 但し、麻布卒業後5年間の学生会員は¥1,000)の納入をお願い致します。合宿参加など現役サポート活動を積極的に行うためには資金的裏付けは必要不可欠です。過去3年間で未納分のある方は本年度分と合わせ納入をお願い致します。

・ 同封の払込用紙をご利用下さい。銀行から送金の場合は：

銀行名：ゆうちょ銀行 / 店番:〇一九 / 口座;当座 0363867

・ ホームページへの写真提供のお願い

AACホームページに古い写真を掲載させていただきます。事務局までご連絡ください。



AACホームページ
<http://a-a-c.net/>

発行者:麻布学園山岳部OB会 / 2022年7月

事務局:小澤徹